

「不登校の子を持つ保護者への経済的支援を求める」ためのアンケート結果から見えるもの

2026年5月26日

NPO法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ

概括（アンケート 105 人～北海道から山口県までの回答分析から）

・保護者の抱える問題は、深刻な現状と言える。

◆ 働き方が変化：72%

離職：22%（約5人に1人）

その他（休職・転職、非正規雇用へ、勤務時間調整、休みがち、早退・遅刻、リモートワーク 等）

◆ 世帯収入が減少：43%（内、月5万以上の収入減：84%）

◆ 支出が増加：96%

支出増加項目：食費、水道光熱費、フリースクール等の会費、交通費、
通院・カウンセリング費、家での学習費 等

◆ 保護者の体調が悪化：59%（メンタルの不調：30%、精神的ストレスに起因する不調：23%）

◆ 金銭的支援を要望：90%

1. 働き方について

子どもが不登校になって、保護者の働き方が激変した。

「離職」「休職・転職」「正規雇用から非正規雇用になった」というような働き方の変化だけでなく、「就職できなくなった」という事例も見逃すことはできない。

また、ステップアップできるオファーがあっても諦めるケースもあった。

2. 収入減について

収入が減少した家庭は4割を超える。

3. 保護者の経済的負担について

支出が増加した主な項目（増加したと回答した「件数」の多い順に、以下①～⑥）

①食費（家で過ごす子どもにかかる費用）

②水道・光熱費

③フリースクールなどの会費（食費を含む）

（外に出て多様な学びにつながろうとする子どもにかかる費用）

④交通費

⑤通院・カウンセリング費（子ども、保護者両方にかかっている）

⑥家での学習費

経済的な理由でフリースクールなどに通うことや、通う日数を増やすことを諦めたという意見も多くあった。

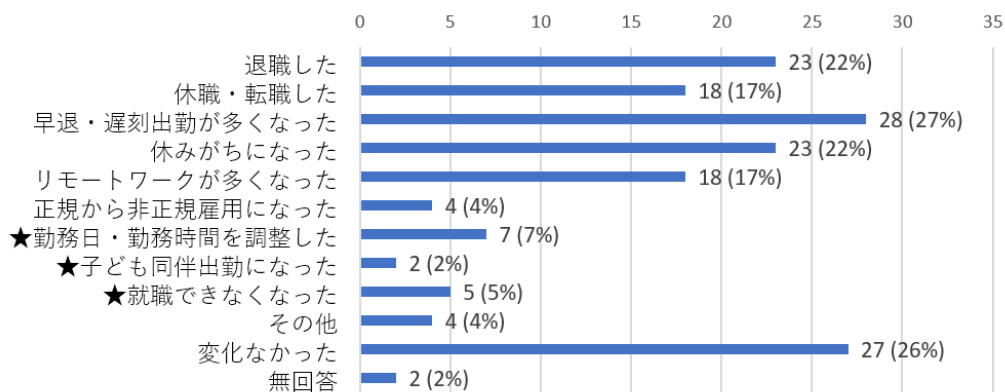
以上の結果より、

「子育て支援」の観点から、保護者への経済的支援が緊急課題である と考える。

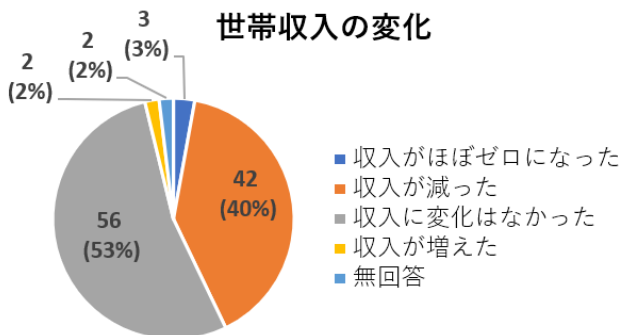
【アンケート結果】(主要項目を抜粋)

★は選択肢ではなく、「その他」として自由記述された項目（選択肢にあればもっと多かった可能性あり）

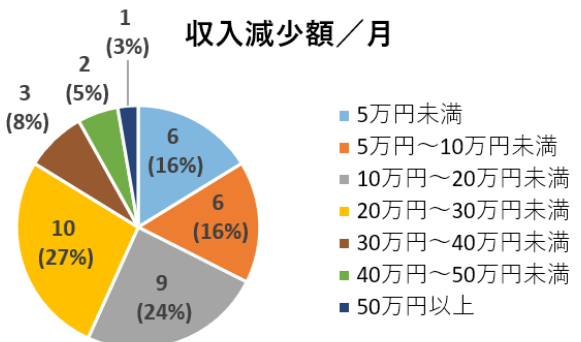
働き方の変化（複数回答可）



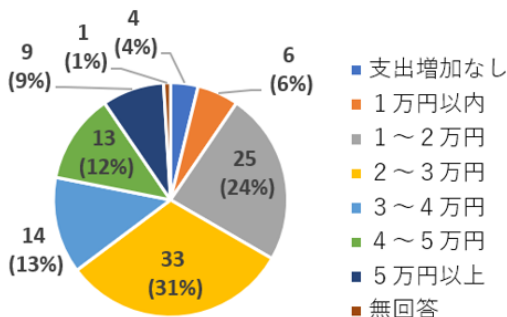
世帯収入の変化



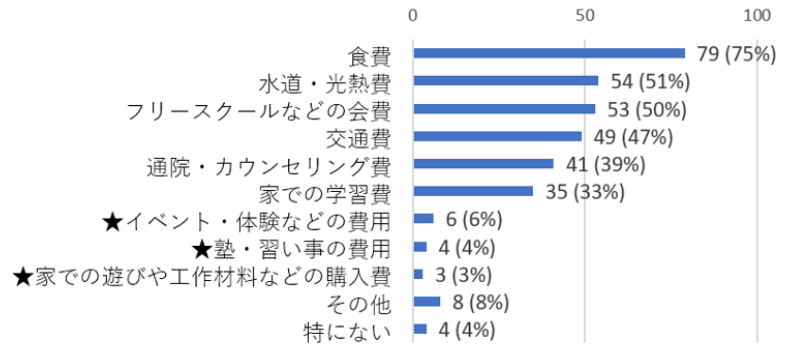
収入減少額／月



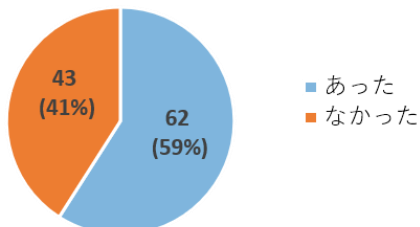
支出増加額／月



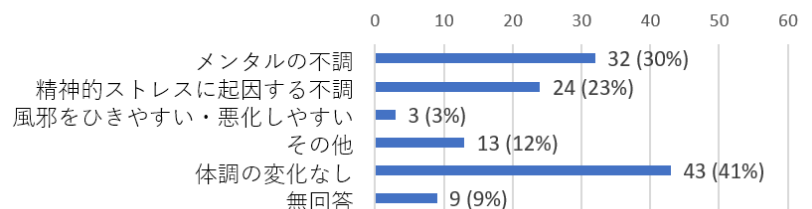
支出増加項目（複数回答可）



体調の変化有無



体調の変化内容（複数回答可）



金銭的支援要否

